

意見交換「親支援を考える ～幼少期から学童期へつなぐ～」

現状

・健診後に発達などでフォローしている家族については、就学支援などで園や療育と情報共有しながら、学校へもつながっており、親支援できる環境がある。しかし、母子保健事業でフォローしていない親子は発達課題を抱えていても学童期につながっていない。中には学童期で何かしらの生きづらさを感じ不登校などの課題があり、あいさいっ子相談室へ相談にくるケースもある。

今年度からの取り組み

・幼稚園・保育園・こども園・小学校連絡会を実施（7月9日開催）。現小学校1年生と年長児について情報交換をしていく。

課題

- ① 園から小学校へつながっていない子がいる。
⇒小学校にあがって生きづらさを感じる子など、どのような子をつなぐ必要があるのか園の認識を高める。
- ② 親が子どもの特徴を理解できていない。
⇒子どものどのような特徴をどのように伝えていくのが、以前からの課題となっている。無理やり支援へつなげるのではなく、いかに親に子どもの特徴を認識してもらうか。支援につなげられないと困るのは子どもである。

親と子ども共に幼児期から学童期へつなぐための体制づくりをしていく

各機関において、支援が途切れないために取り組んでいただいている事や、これから必要な取り組み等ご意見をいただきたいと考えている。